

平成20年4月30日

各位

会社名 松尾電機株式会社
代表者名 代表取締役社長執行役員 清水 巧
(コード番号 6969 大証市場第2部)
問合せ先 執行役員総務・経理部門長 竹野井 薫
(TEL 06-6332-0871)

固定資産に係る減損損失等、特別損失の発生に関するお知らせ

平成20年3月期に於いて、下記のとおり特別損失が発生することとなりましたので、お知らせ致します。

記

1. 福知山工場の固定資産に係る減損損失について

チップタンタルコンデンサを製造している福知山工場について、価格競争の激化による製品販売価格の下落、また、電子機器の小型化・低背化に対応するため販売を開始した「下面電極チップタンタルコンデンサ」の歩留りが計画値に達しないことによる製造費用の増加等により採算の低迷が続いたため、同工場及び関連部署の将来キャッシュフローを検討した結果、「固定資産の減損に係る会計基準」を適用することが相当であると判断しました。同基準適用による減損損失は、約**973**百万円となる見込です(連結・単体)。

2. たな卸資産に係る評価損について

財務の健全性の観点から、今後販売や使用の可能性が低い原材料、製品、及び販売価格が著しく低下した製品、その仕掛品について評価損を計上します。金額は単体ベースで約**133**百万円、連結ベースで約**138**百万円となる見込です(連結・単体)。

3. 投資有価証券評価損について

当社保有上場株式(投資有価証券)について、時価が著しく下落したため減損処理による評価損、約**101**百万円を計上します(連結・単体)。

4. 海外子会社株式に係る減損損失について

当社海外連結子会社(100%出資)、マツオ・エレクトロニクス・オブ・アメリカは、北米市場に於いて当社製品を販売していますが、米国内自動車メーカーの不振、また電子機器セットメーカーの中国・東南アジアへの移転により業績が低迷しています。当社の人的・財政的支援の下、再建に取り組ましましたが、予定通りに業績が回復しないため、当該子会社株式の実質価値が著しく低下したものと判断し評価損を計上します。金額は約**86**百万円となる見込です(単体)。

5. 業績に与える影響

平成20年3月期(連結・単体)の業績に与える影響については、同時に発表いたします「業績予想の修正、及び中期経営計画(連結)策定に関するお知らせ」に記載しています。

以上